

GNH 研究所 スタディツアー in Shiga レポート

期間：2011 年 7 月 29 日（金）～31 日（日）

場所：滋賀県 安土町・甲良町

参加者：10 名

スケジュール：添付1 スケジュール表 をご参照ください。



安土にて



甲良町にて

2011 年 7 月 29 日（金）

JR 安土駅にて 18 時に集合。今回お世話になる甲良町役場職員の山田さんと奥さんに挨拶。駅近くの安土観光協会に移動し、職員の城念さん、林さんに挨拶した後、本日の宿泊施設「悠々元気園」へ向かう。

19 時頃より、観光協会の城念さん、林さん、信長クラブの目加田さんも参加され、GNH 研の大橋研究員のファシリテーションで、アイスブレイクが行われた。このアイスブレイクは、自己紹介ではなく、他の人に質問をしてコミュニケーションをして行き緊張をほぐすというものだった。和気藹々として来たところで、夕食。皆さんからの差し入れも交えながら、鮎寿司や小鮎のつくだになど滋賀の名産を堪能。美味しいアルコールも交えながらの和やかな宴会となった。

その後、安土ナイト（屋外での、昔懐かしいオイル・ランタンを囲んでのミニキャンプファイヤー）。地元でボーイスカウトをされている大橋さんの企画で、オイル・ランタンを囲んで座り、唄をうたい、今感じていることを各自発表。くっきり見える星空と、かえるの鳴声が、心をゆったりとさせていき、とても充実した時間だった。

終了後、片づけをし、各自入浴、就寝。

2011 年 7 月 30 日（土）

8 時頃、観光協会の城念さんのお心遣いで、ゆで卵とミニトマト、スイカを差し入れて下さる。どれもうま味がぎゅっと詰まっていて美味しかった。また、城念さんが今習ってらっしゃるという、コカリナ（木製の笛）と地元名産のヨシで作ったヨシ笛を持ってきてくださった。須藤研究員も、青森の篠笛を披露。滋賀にしながら、ねぶたまつりの雰囲気が味わえた。

その後、皆さんが持ち寄ったお菓子や飲み物を朝食としていただきながら今日の予定を確認。8 時半頃「悠々元気園」をチェックアウトし、まずは奥石（おいそ）神社を見学。ここは安産の神様が祀られているが、この日は戌の日という事もあり、参拝するご家族が多かった。その後、紗々木神社へ向かう。こちらは、全国の佐々木さんの氏神様が祀られているとのこと。お寺の宮司さんが、伝統を守りつつも最新の設備を取り入れることの難しさなどを語ってくださった。お昼頃、観光協会のある城郭資料館を訪れ、安土城内部の模型や安土城を紹介したビデオを見る。車手配の為に、数名が一足先に彦根へ移動。安土に残ったチームは、このあたりで有名な竜王そばをお昼ご飯として食べてから、集合場所の JR 河瀬駅まで移動することにした。私は肉そばをいただいたが、近江牛が入っていて大変美味しかった。安土を後にする際に、名産のヨシシャーベットをいただいた。河瀬駅まで向かう車内でいただく。ちょっと癖があるけれど、さっぱりとしていて美味しかった。

13 時すぎに、JR 河瀬駅にて本日からツアーに参加の方と、甲良町職員 山田さんと合流。まずは宿泊先である甲良町北落地区の渋柿舎 七朗平（近江商人旧屋敷）まで移動し、施設案内等オリエンテーションを受ける。その後、湖東三山、西明寺を見学。ちょうど雨上がりだった事もあり、苔の庭がとてもきれいで、なんともいえない清清しさがあつた。お寺 にはご本尊薬師如来像（ご住職一代の間に一回だけのご開帳とのこと。この時は写真を拝む）の他にも十二神将が祀られており、自分の干支の神将の前で祈る。西明寺を後にし、佐々木道誉ゆかりの勝楽寺、甲良町立図書館の見学へ向かう。図書館は、もとの甲良東小学校（総ヒノキ造り）を保存活用しているそうで、古き良き味わいを残しながら、現在は居心地の良さそうな図書館として利用されている。2 階にはピアノや農業器具などが展示されており、歴史を感じさせるポイントが多数あつた。

その後、北落公民館で、甲良町まちづくりに関する山田さんのプレゼンを聞く。

『笑顔で暮らせる豊かな農村』を目標に、伝統を守りながら地元の特性をうまく生かしているまちづくりの様子を知ることが出来た。

プレゼンの後、銭湯に向かう。水がきれいで、緑が多く残り、心癒される風景が広がっている。道中、畑で野菜の収穫をしていた男性から、ミニトマトをいただく。見知らぬ私たちにトマトを下さるとは、地元の方の温かい心遣いを感じることが出来た。とれたてのミニトマトの味わいも格別だった。

銭湯でゆっくりしてから、夜は、甲良町夏祭りに参加。若者から年配の方までかなりの人数が参加されていて驚いた。地区毎に夜店が出されており、皆で協力し合って作業を進めている様子が印象的だった。

夏祭りが終わると、地元の方々との交流会が開かれる渋柿舎 七朗平へ。

到着すると、既に多くの方々が集まっており、料理を持ち寄って交流会の準備を整えていて下さった。

自己紹介から始まり、各自持ち寄ったお酒や料理をいただきながら交流会が行われた。須藤さんによる、ねぶたのお囃子が場の雰囲気を盛り上げ、交流会は翌日になるまで続いた。



銭湯へ向かう途中で、トマトをいただく



甲良町夏祭りの様子



地元の方々との交流会の様子

2011 年 7 月 31 日（日）

6 時過ぎに起床し、周辺を散歩。朝のすがすがしさを満喫する。

七朗平に戻ってから、皆で軽く朝食。朝食の後、庭にいたカタツムリにスイカを与えてみる。夢中になって食べている様子をじっと観察していると、普段は、こんなに豊かな時間はないなあと改めて感じた。

しばらくして、近くの安楽寺で、地域の皆さんによる仏具を磨く作業「おみがき」の様子を見せていただく。その後、易行寺で日曜学校に参加させていただく。日曜学校では、まず皆で仏様のお顔を見ながらお経を唱え、ご縁さん（浄土真宗ではご住職とは呼ばないそう）から、人として生きる上で大切なお話を聞いたり、示唆にとんだ紙芝居を見るといった内容だった。短い時間であったが、とても充実していた。

その後 9 時半から 11 時まで、北落公民館にて、GNH 研ワークショップが開催された。

今回、地元の小学生から年配の方々が多数（26 名）集まって下さり、「身近な幸せについて考える！」というテーマで、平山さんのファシリテーションのもと進められた。

草郷さんより GNH の紹介を行っていただいた後、グループ分けのためのアイスブレイクが行われた。このアイスブレイクは、言葉を使わずに誕生日の早い人から順番に並んで行くという内容だったが、言葉を使わずにコミュニケーションする事の難しさが実感できた。順番どおりになかなか並べずに、このアイスブレイクで一気に緊張がほぐれた。グループ分けの後、2 人 1 組になって自己紹介し、その後、身近な幸せについてグループ内で話し合った。もう 1 ラウンド、今度はグループを変えて話し合った。自分のグループ内で出た意見としては、「友人と遊んだり語り合っている時」という内容が多く出ており、年齢を問わず、「人とのつながり」の中で幸せを感じる方が多いことがわかった。話し合いの後で、地元の方々へのお礼として「ねぶた体験会」が行われた。須藤さんのお囃子によるリードのもと、参加者がねぶたのかけ声を体験し、会場は大いに盛り上がった。

終了後、渋柿舎 七朗平に戻って清掃、片づけを行った。その後、地元の「ひふみ食堂」で昼食をいただき、彦根駅まで移動して、13 時頃各自解散となった。



スイカを一心不乱に食べるカタツムリ



日曜学校の様子



北落公民館でのワークショップの様子



「ねぶた体験会」の様子